

心臓CT検査まるわかり読本

～ 来院から検査終了まで～

患者様に安心・安全に検査を受けて頂きたいと
いう思いでスタッフ全員で作成しました

検査待ち時間を利用して、是非お読み下さい



聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

CT室スタッフ一同

心臓CT検査の基礎

- 心臓CT検査とは

心臓に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）の状態や心臓の全体像を診る検査です。冠動脈の病気が疑われる方や冠動脈治療後の経過を観察するために行います。

- 心臓の働き

心臓は体全体に血液を送り出すためのポンプです。1分間に約60～80回休むことなく拍動を繰り返し血液を全身に送り出します。

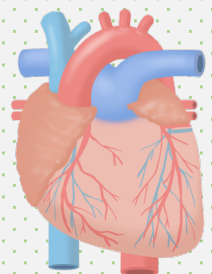
- 検査の特徴

心臓CT検査は動いている心臓を心電図で確認しながらタイミングを合わせ撮影します。ブレの無い綺麗な画像にするためには、

来院から撮影までの準備が大切です。

心拍数（脈拍）を確認しながら進めていく検査のため時間も掛ります。

検査に必要と判断した場合は、薬を内服して頂く場合もあります。



心臓CT検査のワークフロー

1. 来院

造影剤を使用するため、昼食は食べてはいけません
水分は取って構いません カフェインを含まない飲料水をしっかり飲んで下さい

2. 問診

- 既往歴や内服中のお薬について教えてください
- 造影剤アレルギーはありませんか？
- 喘息はありませんか？
- 緑内障はありませんか？
- ニトロ製剤の使用はありませんか？
- バイアグラ製剤の使用はありませんか？
- 大動脈弁狭窄症と言われていませんか？

3. 血圧・脈拍の測定

脈拍の速さは検査に影響を及ぼします 血圧と脈拍の変化を時間を空けて何度か測定を行います 脈拍が落ち着くまでしばらく椅子に座り静かに待って頂きます 医師の指示でお薬を飲んで頂く場合もあります



心臓CT検査のワークフロー

4. β ブロッカー薬の内服

脈拍が速く、医師が調整が必要と判断した場合は内服薬を飲んで頂きます

【 β ブロッカー薬の特徴】

一時的に心拍数を抑える薬です 薬の効果が現れるまで個人差はありますが1時間程掛かります

内服後は椅子に座り、安静にしてお待ち下さい

5. 着替え

薬の効果が現れ、脈拍が落ち着き始めたら検査着に着替えてもらいます 受付で検査着をお渡しし、更衣室にご案内します

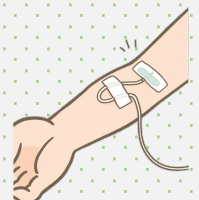
着替え後は、受付前で座ってお待ち下さい

【注意】

検査中は胸に心電図を装着しますので、必ず検査着の下は上半身裸でお願いします

6. 静脈注射

造影剤を投与するための静脈ルートを確保をします 右肘の静脈に注射をしますが状況によって刺す場所は変わります



心臓CT検査のワークフロー

7. CT室入室から検査終了まで

a. 検査室入室

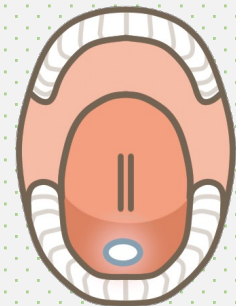
- 検査台に両手を万歳した状態で寝てもらいます
- 胸に心電図のシールを貼り、左腕に血圧計を巻きます 一定の深さの呼吸となるように腹部をバンドで固定します

b. ニトログリセリンの内服

- ニトログリセリンの内服が可能と判断した場合、舌下し検査を行います

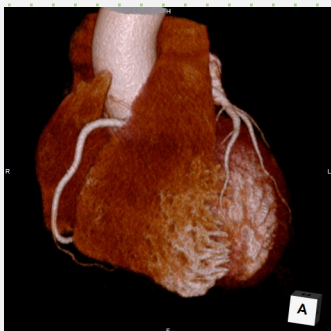
【ニトログリセリンの特徴】

- 血管を拡げる薬です
- 舌の下で溶かし効果を出します



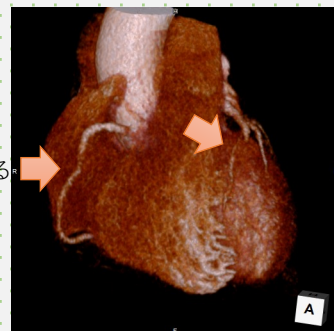
c. 息止めの練習

- 検査の時はしっかり息を止め、体を動かさないようにして撮影をします 息止めの時間が長いいため息止め練習をしてから本番となります



息止めが出来た時の画像

画像がブレている



呼吸が止め不良時の画像

心臓CT検査のワークフロー

d. 撮影

- 造影剤を注入しながら撮影を行います
- 造影剤を注入すると身体中が熱さを感じますが、造影剤の正常な作用ですので慌てずにしっかり息止めをして下さい
- 息止めの合図は、CT装置から聞こえてきます音声に合わせて行って下さい

e. 検査終了

血圧と脈拍を確認し、静脈注射の抜針を行い、様子を診て、検査を終了します

8. お疲れさまです

- 検査終了後は食事を摂取する事が出来ます
- 入浴の制限はありません
- 造影剤は尿として体外へ排泄されます 多めに水分を摂取して下さい

9. 最後に

この検査は、検査を受けるための準備が大切です
待ち時間が非常に長くなったり検査の順番が前後する事もあります

ご理解の上ご協力をお願い致します

